

面影1丁目町内会だより

発行
面影1丁目
町内会総務部

第36回面影地区子ども駅伝競争大会

第36回面影地区子ども駅伝大会が9月22日(土)、袋川土手周回コースで開催され、秋空の中、懸命にタスキをつないで健脚を競いました。

この大会は、心身ともに健全な青少年の育成をめざす目的で毎年9月に開催され、今年は7チ



ームが参加しました。小学生と中学生により町内会単位でチームをつくり、袋川の大杵橋から今在家橋間の土手を5周するもので、秋空の下、懸命に走る子どもたちはチームメイトや保護者の皆さんの”熱い”声援を背に、元気いっぱいの走りでタスキをつなぎました。

面影1丁目は今年も精鋭を集め、7区で長谷川さんが区間賞に輝く活躍をみせましたが、残念ながら上位入賞はできませんでした。

結果はともかく、選手の皆さんは最後まであきらめることなく精一杯頑張りました。来年にまた期待しましょう。 **区間賞おめでとう 長谷川さん(7区)**

保護者の声援を背に健闘した子ども達、役員の皆さんお疲れさまでした。

第108回面影地区敬老会開催

9月16日、第108回面影地区敬老会が面影地区公民館において開催され、75歳以上の対象者のうち、164名が出席して長寿を祝う演芸などの催しを楽しみました。

面影地区自治会(稲田宗万会長)など来賓の祝辞に続き、コール面影、銭太鼓、鶴亀音頭などが披露され、会場から温かい拍手が送られました。

面影1丁目は、対象者141名のうち、38名が元気に出席。それぞれ楽しいひと時を過ごしました。

来年もお会いできますよう、お元気でお過ごしください。ご協力いただいた役員の皆様ありがとうございました。

面影地区該当者: 794名(75歳以上)

当町内会該当者: 141名 当町内会出席者: 38名



今年度の緑の募金は、15,16,17,19,20班の皆さんに協力していただきました。74軒から募金していただき、その総額は17,400円でした。その65%を上限として町内会の緑化費用として還元されます。花の苗、土や肥料、プランターなどを購入しようかと思っています。また、次年度以降の募金活動については、各班が3年に1度、協力するようなペースがよいのではないかと考えておりますが、次年度の役員で検討し、最終的に決定させていただきます。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

明朗会のうんどうかい

明朗会会長 岩城 勲

明朗会の「うんどうかい」を、9月27日（木）に面影地区公民館で、35名が参加して開催しました。

岩城明朗会長の挨拶に始まり、南條副会長の「一にも二にも無理をしてけがをしないように」との諸注意の後、金谷さんの準備運動で競技が始まりました。

種目は、「パン拾い」に始まり、「金魚すくい」「おみこしわっしょい」「私の家族はきれい好き」「玉入れ」を行いました。みんなが童心に帰り、和気あいあいプレーをし、けがもなく健康的で楽しいひと時を過ごすことができました。種目の選定については特に気を配り、「パン食い競争」は腰痛の人には問題があるので、上を向かないで競技できる「パン拾い競争」に、「玉入れ」も同じ理由で床面にざるを置き、上を向かないでできるように工夫しました。



運動会終了後、面一公民館で会食をしながら、優勝チームや特別賞の表彰を行い、珍プレーや好プレーの話に花が咲き、大いに盛り上がりました。

この「うんどうかい」は、準備をしてくださいました上治副会長、濱本会計、有田幹事、井上幹事をはじめ、携わっていただきました多くの皆様の協力が無ければ成しえなかった事業です。

本当にありがとうございました。

みんなの力できれいな町に！

10月21日（日）、町内一斉清掃を行いました。

この一斉清掃は、毎年春と秋の2回実施していますが、毎回、大勢の方の協力によりごみが回収されています。

秋晴れの中、町内会の指定場所に集まり、主要道路沿い・公園・県営住宅付近など中心に多くの町民の参加をいただき、約2時間かけてごみ・草取りなどをしました。特に水路内などの掃除は大変だったと思いますが、おかげさまで「きれいな住環境」を取り戻す事ができました。町内を美しくする活動として引き続きご協力をお願いします。



災害の怖さを知ろう

10月21日（日）、面影1丁目公民館において防災訓練が行われました。これは町内の防災意識を高めようと毎年行われており、町内会長ら約20名が参加しました。

今回は防災ビデオ【熊本地震から学ぶ「こんな対策があなたを救う」】の視聴でした。被災者の証言をもとに、被害の様子が映し出されると、改めて災害の怖さを思い知らされました。

また、災害用伝言ダイヤル（171）についても学びました。

災害はいつやってくるか分かりません。「私たちの町は私たちで守る」という防災意識を常に持ち、災害に備えておきましょう。



「虹のきずな」

これは、10月7日（日）に、面影1丁目公民館で行われた小地域座談会で視聴したDVDの題名です。

中国から帰国した小学生への「仲間外し」をテーマにしたアニメーションでしたが、よそ者に対する偏見、相手の気持ちをよく考えること、本当の友だちとは何か、等々、いろいろなことを考えさせられました。同時に、私は、金子みすゞの詩の中にある、「みんなちがって、みんないい」という一節がふと頭に浮かんできました。